

呼吸器内科の紹介

Q1 どんな症状の人がかかるのですか

A1 咳（せき）、痰（たん）、息切れ、胸や背中痛み、呼吸が苦しい、ゼーゼーする、息がひゅーひゅーする、痰に血が混じるなどです。

Q2 診察はどのようにするのですか？

A2 症状の出た日時、推移、変化など詳しく聴きます。
今まで罹った病気やけが、アレルギーのありなし、家族に多い病気などを聴きます。
顔色はどうか、顔や足はむくんでいないか、唇の色は、胸の形・動きはどうか、
聴診器で心臓の音、呼吸の音は正常か、その他異常な音があるか聴きます。

Q3 どんな検査をするのですか？

A3 診察の結果、疑われる病気を診断するために必要な検査をえらびます。主な病気で実施される検査を挙げてみます

感染症（細菌やウイルスなどによる病気）：肺炎、気管支炎、胸膜炎、肺結核

胸部X線写真、胸部CT、血液検査、尿検査、喀痰の細菌検査

腫瘍（癌や良性のしこり）：肺癌、胸膜の悪性中皮腫、縦隔腫瘍

胸部X線写真、胸部CT、血液検査、喀痰細胞診 気管支鏡検査

気管支喘息：呼吸機能検査、血液検査、喀痰検査

慢性閉塞性肺疾患：胸部X線写真、胸部CT、呼吸機能検査

※長野県内においてCTガイド下気管支鏡検査を行える数少ない病院のひとつであり、肺癌の臨床において大きな役割を果たしています。

Q4 どんな治療をするのですか？

A4 当科は感染症、腫瘍、アレルギー疾患等扱う疾患の幅が広く、それらを適切に診断した上で治療を進めます。

今後もエビデンスに基づいた最新の治療を取り入れていく所存です。

医学は日々進歩していますので、他病院とも連携して最新かつ最善の治療が提供できるよう努力していきます。

